



## 建設系 CPD 協議会による CPD 共有システムについて

農業土木技術者継続教育機構 評価委員会委員長 内田一徳

### 1. 建設系 CPD 協議会とは

建設系 CPD 協議会とは、建設系分野にかかわる技術者の能力維持向上を支援するために、関係学協会間での CPD（継続教育）推進にかかわる連絡や調整を図る目的で設立された協議会です。この協議会には、建設系 11 学協会（土木学会・日本建築学会・地盤工学会・農業土木学会・日本造園学会・空気調和衛生工学会・日本都市計画学会・日本コンクリート工学協会・日本技術士会・建設コンサルタンツ協会・全国土木施工管理技術士会連合会）が参加しています。この協議会の主な使命は、

CPD プログラムの相互認定、 CPD プログラムの補完、 CPD 取得単位の相互認定、 CPD 推進のための連携提携、 CPD に関する情報交換、などです。

### 2. これまでの変遷

2002 年 8 月に建設系継続教育連絡協議会設立準備会が発足し、2003 年 7 月に建設系継続教育連絡協議会（建設系 CPD 協議会）として正式発足しました。協議会には、ルール検討部会（CPD 単位・教育分野の考え方やプログラム認定基準などのソフト関係）とシステム検討部会（プログラムや CPD 記録の共有システムなどのハード関係）の 2 つの専門部会を設けて検討を進めてきました。これまでに協議会を 13 回、専門部会を 20 回以上開催しています。平成 17 年度末に相互協力協定書を交換し、平成 18 年度より加盟している 11 学協会間で相互に認定プログラムの参加 CPD ポイントが認められることとなりました。この協議会の大きな成果としましては、CPD プログラム情報検索・閲覧システム、CPD 単位の相互承認・通知制度（学協会共通仕様カード）があげられます。このニュースレターでは、両者の詳細をご説明いたします。

### 3. CPD プログラム情報検索・閲覧システム (<http://www.cpd-ccesa.org/>)

本システムは平成 17 年 4 月より運用開始したもので、構成団体が個別に認定した CPD プログラムを相互に認定・補完することを目的に、学協会共通サーバに認

定プログラムを掲載・公開するものです（図 1 参照）。

このシステム構築に際しましては、構成団体が構築費用や運用経費を会員数や掲載プログラム数に応じて負担しあっています。上記の URL をみていただくとわかりますように、トップページには各構成団体のロゴマークと代表的な写真が掲載され、それぞれの学協会ホームページにリンクするとともに、検索画面では、開催時期や場所、主催者の別で検索できるだけでなく、プログラムの目標や内容をキーワードでの検索、構成団体やプログラムレベル毎の検索が可能となっています。特に、他学協会主催の認定プログラムにご参加を希望される方にとりましては、各自の CPD 目標に応じた継続教育プログラムを簡単に検索でき、しかも主催学協会のホームページから簡単にオンライン参加申込することもできますので、是非ご活用いただきたいと思います。

### 4. CPD 単位の相互承認・通知制度（学協会共通仕様カード）

この制度は、平成 18 年度から正式に運用が始まりました。農業土木技術者継続教育機構会員が、他の 10 学協会の認定プログラムに参加した場合には、CPD 単位が自動登録される制度です。CPD 単位は、各学協会によって多少異なりますが、主催学協会の CPD 単位を尊重することを基本原則としています。本機構の会員番号と氏名を記録用紙に記入していただくだけで、後ほど、その学協会から本機構に参加プログラムの種別や CPD 単位などが通知され、個人会員記録として自動的に記録されますので、自己申告する必要がなくなるわけです。

図 2 はこうした流れを示した模式図です。

### 5. 将来構想

建設系 CPD 協議会では、図 1 に示しますようなクレジットカードタイプの学協会共通仕様カードを制定し、カードリーダーで読み取ることによって、氏名やホーム学協会・会員番号などを自動登録することができます。しかし、本機構では独自のバーコードリーダー方式を採用していますので、このカード利用は現時点ではできません。将来的にはすべての会員カードが IC カードタイプ

に変更されることが予想されますので、その際には、本機構も会員カードタイプの変更を検討することになると思います。将来的には、CPD 記録の登録は、すべてこの会員カード 1 枚に登録されることになっていくでしょう。

建設系 CPD 協議会では、共通サーバの利用促進や CPD 記録の自動登録システムに関しましても、さらなる利便性向上を目指していく方針ですので、どうぞご期待ください。

[2006.6.1 受稿]

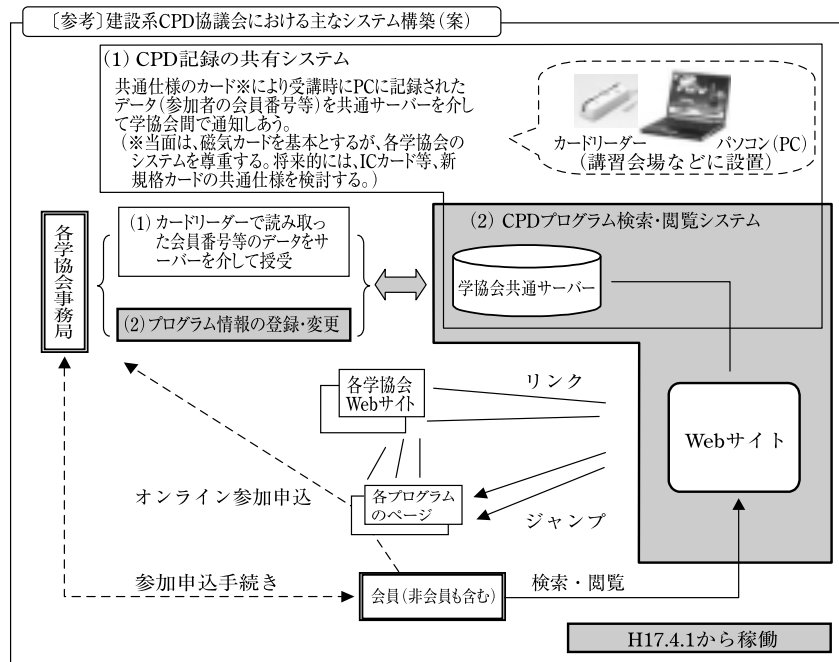
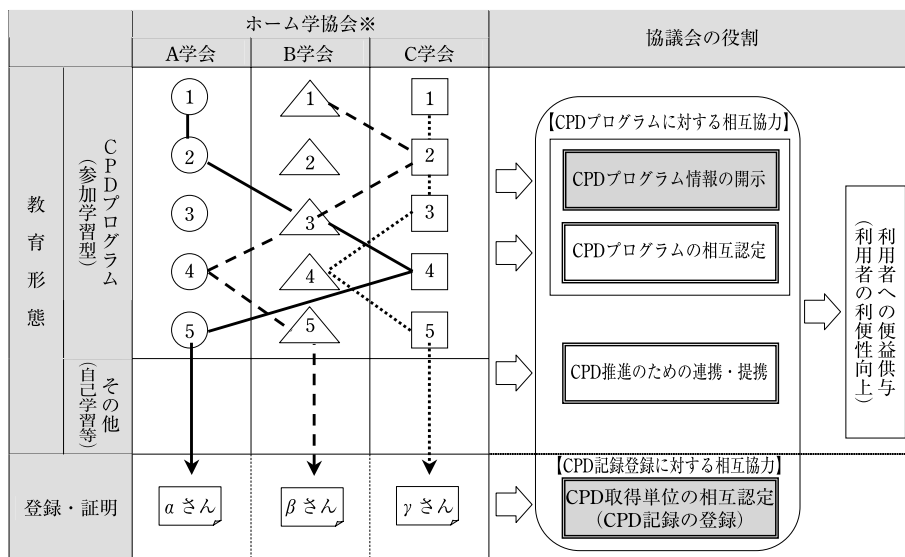


図 1 建設系 CPD 協議会における主なシステム構築 (土木学会・片山功三氏作成)



※ CPDに取組む技術者個人は「ホーム学協会」を必ず一つ指定する。  
 【凡例】○：A学会主催のプログラム，△：B学会主催のプログラム，□：C学会主催のプログラム  
 — aさん (A学会員) 受講，-- βさん (B学会員) 受講，..... γさん (C学会員) 受講

図 2 CPD 単位の相互承認・通知制度 (土木学会・片山功三氏作成)